

Vol.107 「雨の日の自転車通学」

日本は世界的にも雨が多い国です。自転車通学の状況調査(KANKOホームルームVol.106)によると、雨の日の自転車通学で中学・高校生が困っていることは、「雨」が最も多く、自転車通学の9割以上の生徒が雨の日の自転車通学を困っていました。では、雨の日の自転車通学はどのような状況なのでしょう？今回は、中学・高校生の雨の日の自転車通学の方法や、レインウェアを着て困っていることを調査しました。

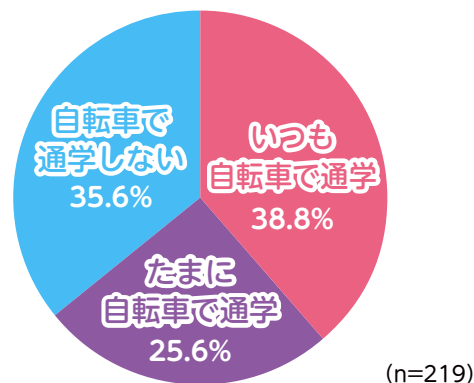


調査概要

調査対象：全国の自転車通学をしている
 中学・高校生の男女219人
 調査方法：インターネットリサーチ
 実施時期：2014年7月

Q 1. 雨の日の自転車通学の状況

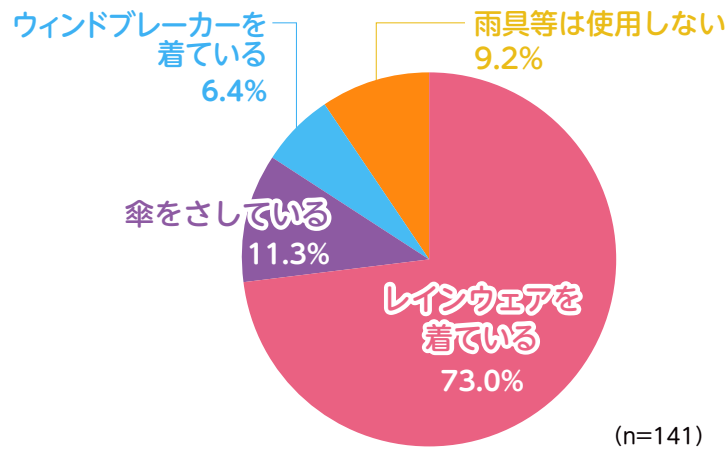
自転車通学をしている中学・高校生の雨の日の通学状況は、「いつも自転車で通学」(38.8%)、「たまに自転車で通学」(25.6%)、雨の日は「自転車で通学しない」(35.6%)という結果となり、中学・高校生の6割以上は雨の日も自転車で通学していると回答しています。



【図1】あなたは、雨の日に「自転車」で通学していますか？（単数回答）

Q 2. 雨の日の自転車通学の方法

雨の日に自転車で通学をしている中学・高校生の通学スタイルは、「レインウェアを着ている」(73.0%)が最も多く、次に「傘をさしている」(11.3%)、「ウィンドブレーカーを着ている」(6.4%)という結果になりました。また、雨の日に「雨具等は使用しない」(9.2%)で自転車に乗っていると中学・高校生も1割程度います。

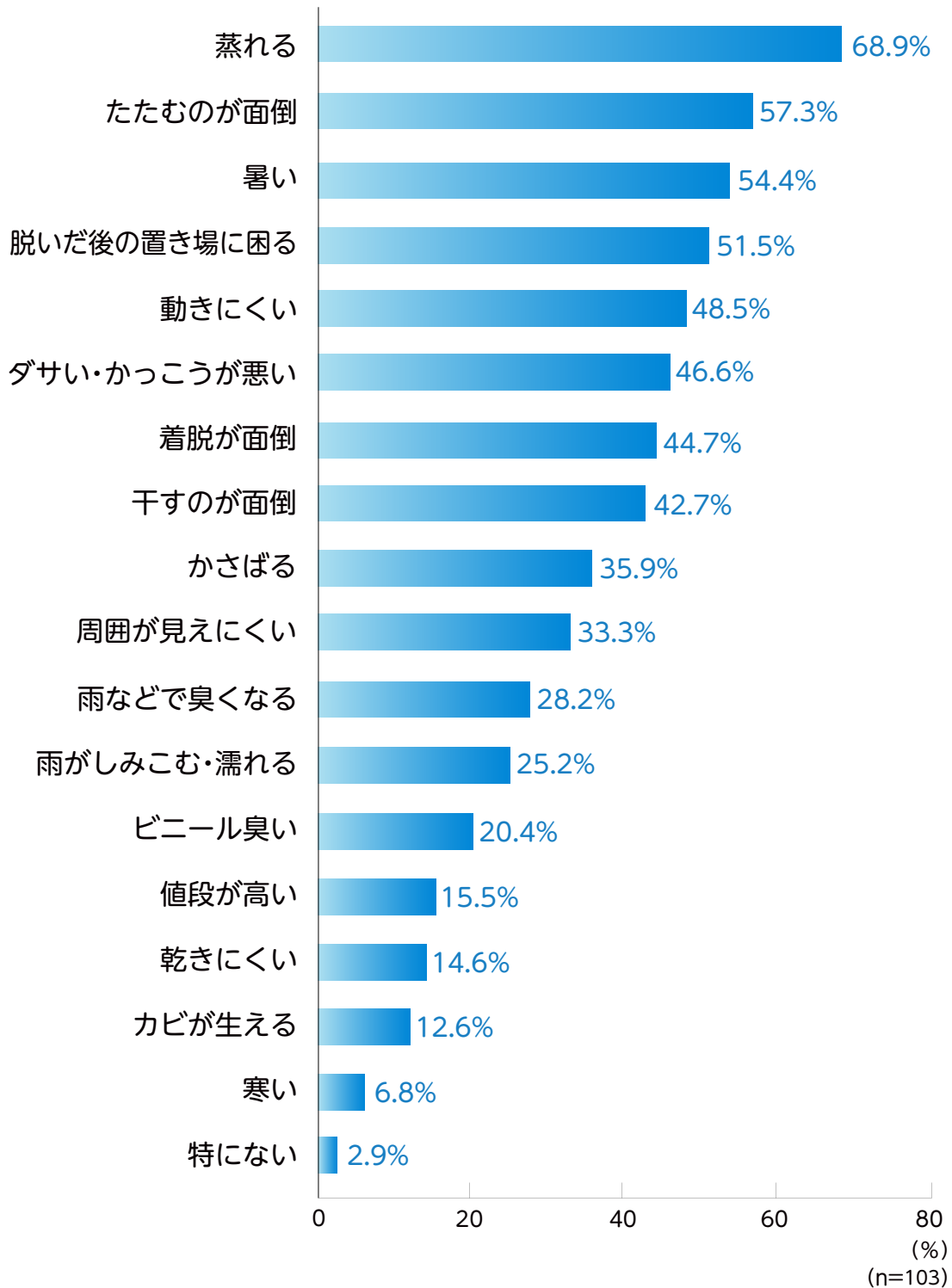


※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

【図2】雨の日の「自転車」での通学は、主にどのようなスタイルですか？（単数回答）

Q 3. レインウェアを着ていて困る・嫌なこと

中学・高校生がレインウェアを着ていて困る・嫌なことは、「蒸れる」(68.9%)という着用時の不快が最も多く、次にレインウェアを脱いだ後「たたむのが面倒」(57.3%)があげられました。また、レインウェアが「ダサイ・かっこうが悪い」(46.6%)といった見た目の悪さや、レインウェアを着用すると「周囲が見えにくい」(33.3%)など安全面についても困っていると回答していました。



【図3】 あなたがレインウェア（雨具カッパ）を着ていて、困る・嫌だと思うことはありますか？（複数回答）

 まとめ

傘差し運転は、片手での不安定な運転となるためバランスを崩しやすくする原因となるほか、傘によって視界が遮られ事故を誘発する恐れがあります。学校や地方自治体では、雨の日の自転車通学による事故防止の取り組みとして、傘差し運転を禁止し、レインウェアの着用を推奨・義務付けを行っています。レインウェアを着用していない中学・高校生もいるようです。

今回の調査では、自転車通学をしている中学・高校生の6割以上が雨の日も「自転車で通学をしている」と回答していました。しかし、雨の日の自転車通学時のレインウェアの着用率は約7割(73.0%)にとどまり、生徒の約1割は道路交通法で禁止されている片手運転＝「傘をさして自転車に乗っている」と回答していました。レインウェアを着ていて困る・嫌なことを尋ねると、「蒸れる」(68.9%)、「たたむのが面倒」(57.3%)といった着用時と着用後の不満があげられました。また、「ダサイ・かっこうが悪い」(46.6%)、「周囲が見えにくい」(33.3%)など、見た目や安全面への不満も多いようです。

中学・高校生がレインウェアを着たくない理由としては、着心地が悪い、片付けが面倒、見た目が悪い、安全性が低下するなどの理由があります。雨の日も快適に安全に自転車通学ができる機能・仕様はもとより、中学・高校生が着たくなるようなデザインの良いレインウェアが求められています。

毎月最終
火曜日
更新

KANKO ホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

KANKOホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>